



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第7号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第7号). 泌尿器科紀要 2001, 47(7): 542-542

ISSUE DATE:

2001-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114550>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

6月2～7日、アナハイムで行われた全米泌尿器科学会に出席した。これで、何十回アメリカへ来たことになるだろう。若いころは、10時間そこそこのフライトなど平気で、時差なども一晩寝たら直ったものだが、この頃はつらい。

学会に関しては、数年前から出している「Highlights of USA」で報告するが、相変わらずの活気であった。

ところで、アメリカでは5年前から病院はすべて全館禁煙である。病院だけではない、公共施設はすべて全館禁煙で、多くの州法によりそのように決められている。そのおかげで、肺癌の発生率が減少してきた。イギリスでは1950年代から始まった禁煙キャンペーンのおかげで、肺癌の死亡数を半減させることに成功した。また、ニコチンパッチやニコチンガムは医師の処方があれば、無料だという。健康保険にも採用されず、ニコチンパッチがタバコより高い日本の禁煙対策は、アメリカ、イギリスより40～50年遅れている。

日本赤十字社和歌山医療センターでは病棟はすべて禁煙、ゆくゆくは全館禁煙にしようと思っている。

(吉田 修)

---

泌尿器科紀要 第47巻 第7号 2001年7月25日 印刷 2001年7月31日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

---

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---